

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成23年度～平成27年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（なかがわ） 那珂川森林計画区 （栃木県）	事業実施主体	関東森林管理局 塩那森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、栃木県北東部に位置する那珂川森林計画区41,249haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の国有林野は、西部の那須山地東面、東部の八溝山地西面に広がり、那珂川本流、箒川の源流部等の重要な水源地帯に位置しており、林況は、林地面積の65%がブナやミズナラ等の天然林、35%がスギ等の人工林となっている。</p> <p>東部の八溝地区や南西部の高原地区は、高原材、八溝材等の優良材生産と、これを基盤とした木材加工業等が立地する地区であり、北部から西部にかけては、自然度の高い森林が分布し、自然探勝、スキー等の森林レクリエーション、保健休養の場としての活用も進んでいる。</p> <p>また、当計画区では、水源かん養保安林が国有林野面積の78%に達し、生活用水や農業用水などの水がめとして重要な役割を担うとともに、保健、土砂流出防備保安林等に指定され、地域社会を守る重要な役割を果たしている。</p> <p>このように、当計画区の森林に対する国民の要請は、木材等の林産物の供給、水源のかん養、山地災害の防止等の機能の発揮に加えて、良好な生活環境の保全や、生物多様性の保全等への寄与など、森林の持つ多面的機能への期待が高度化・多様化してきている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>																						
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">299 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>4,443 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.9 k m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>15.4 k m</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>4,244,816 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	299 h a			保育面積	4,443 h a		路網整備	開設延長	6.9 k m			改良延長	15.4 k m	総事業費			4,244,816 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	299 h a																				
		保育面積	4,443 h a																				
	路網整備	開設延長	6.9 k m																				
		改良延長	15.4 k m																				
総事業費			4,244,816 千円																				
費用対効果分析	総 便 益（B）	18,215,602 千円																					
	総 費 用（C）	5,614,168 千円																					
	分析結果（B / C）	3.24																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

整理番号 9

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 事業実施地区名：那珂川森林計画区
 （都道府県名：栃木県）

事業実施主体：関東森林管理局
 塩那森林管理署

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	5,053,570	
	流域貯水便益	1,354,843	
	水質浄化便益	2,312,991	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,446,857	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	1,704,700	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	215,767	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	594,469	
	木材利用増進便益	8,288	
	木材生産・確保増進便益	2,375,424	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	44,601	
	森林管理等経費縮減便益	2,900	
	森林整備促進便益	99,458	
維持管理費縮減便益		1,734	
総便益 (B)		18,215,602	
総費用 (C)		5,614,168	
費用便益比 (B/C)		3.24	

森林環境保全整備事業 那珂川森林計画区(栃木県) 概要図

対象計画区拡大図

